

## 産業別就業者の状況(各年国勢調査)

行田市の産業構造について、就業者がどの産業に属しているのかを調べたものです。  
 製造業の就業者が多かったものが、平成17年以降はサービス業の割合が最も高くなっています。

単位:人

		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
第1次産業	農業、林業	3,423	2,726	2,263	1,949	1,992	1,839	1,274
	漁業	5	9	5	4	3	0	7
第2次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	1	4	8	7	6	2	6
	建設業	2,334	2,387	2,891	3,403	3,375	3,425	2,899
	製造業	14,052	15,590	15,970	14,533	13,337	11,807	9,996
第3次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	213	238	245	260	231	246	179
	運輸・情報通信業、郵便業	2,015	2,216	2,548	3,041	3,426	3,866	3,686
	卸売・小売業・飲食店	7,185	7,631	8,462	9,429	9,854	7,436	7,441
	金融・保険業	1,017	1,140	1,269	1,358	1,166	1,043	968
	不動産業、物品賃貸業	159	175	279	268	278	436	556
	サービス業	4,468	5,485	6,792	8,388	9,147	13,188	12,499
	公務	930	1,014	1,052	1,148	1,092	1,339	1,225
	分類不能産業	15	72	63	126	131	307	1,524
		35,817	38,687	41,847	43,914	44,038	44,934	42,260

## 産業別就業者割合の推移

